

## 城西人文研究 既刊総目次

### 創刊号 (1973年)

序	武 市 春 男
『城西人文研究』の創刊に際して	蒔 田 栄 一
ニーチェとキリスト教倫理	木 阪 昌 知
マヤの石造建築における「持送りアーチ」について	貞 末 堯 司
意味と認識	
——パース研究(4)——	西 勝 忠 男
シーハラヴァットパカラナ訳註(Ⅱ)	
——第1章 第3・4・5話——	森 祖 道
独白と対話	
——ジョイスとペローの距離——	茂 呂 公 一
ポーにおけるグロテスクとアラベスク	水 田 宗 子
内村鑑三おぼえ書き(その八)	岩 谷 元 輝
人間の社会的構造と疎外	松 浦 孝 作
『靈魂の系図』について	
——Carlyle を中心として——	松 田 福 松
カフカの世界	
——非ユダヤ的ユダヤ人——	山 口 勲

### 第2号——蒔田栄一教授追悼論文集—— (1974年)

巻 頭 言	武 市 春 男
バスク語の単文における語順の文体的価値について	堀 田 郷 弘
内村鑑三おぼえ書(その九)	岩 谷 元 輝
精神病理学的立場からみたニーチェ思想の枠構造(1)	木 阪 昌 知
『サムラー氏の惑星』試論	森 哲 夫
「キリスト者貴族に与う」にみられるルターの思想考	太 田 広
宗教史にみる日本的均衡のメカニズム(Ⅳ)	
——マーケティングと宗教の関連において——	渡 辺 好 章
遠近法と身体性について	山 口 勲
同一性(アイデンティティ)に関する諸問題——その一——	帆 足 喜 与 子
涼袋稿『風雅艶談』浮舟部——翻刻——	黄 色 瑞 華

「紙」以前の書写の用材について .....	井 口 大 介
故蒔田栄一教授 追悼 .....	松 田 福 松
ああ蒔田栄一先生よ .....	伊 部 政 一

### 第3号——城西大学開学十周年記念論文集——（1975年）

アンデス古代文明の諸問題 .....	貞 末 堯 司
発見の哲学——パース研究（6）—— .....	西 勝 忠 男
首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成 ——埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較—— .....	田 村 正 夫
鉄齋と畢山 .....	小 野 浩
日本民主主義研究序論 .....	森 田 昌 幸
遠近法と身体性——その哲学的意味—— .....	山 口 勲
Feminine Failure and the Modern Hero: Mad Women in Sylvia Plath's <i>The Bell Jar</i> and Joan Didion's <i>Play It As It Lays</i> .....	水 田 宗 子
『おらが春』の素材 .....	黄 色 瑞 華
日本におけるアンドレ・マルロー受容 ——1941年（昭16）まで—— .....	堀 田 郷 弘
ジェイムズ・ジョイス研究——造形への意識—— .....	茂 呂 公 一
作品とその批評 —— <i>Robert Elsmere</i> と “Robert Elsmere”—— .....	萩 原 博 子
司馬遼論 .....	黒 羽 英 男
三代日本主義の系譜について .....	松 田 福 松

### 第4号（1977年）

論理の自律性について——パース研究（7）—— .....	西 勝 忠 男
カントの「定言命法」 .....	山 口 勲
中央アメリカの考古学史 ——先コロンブス期文化の研究を中心とした—— .....	貞 末 堯 司
クレアラ・アン・ペイター覚え書 .....	萩 原 博 子
『教育者としてのショーペンハウアー』から ——ニーチェと自然—— .....	河 内 信 弘
アンドレ・マルローと日本行動主義文学運動 .....	堀 田 郷 弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅱ）——生命の美学—— .....	陶 山 嘯

## 冷たき牧歌

——キーツの『ギリシャの壺の賦』によせて——	永井豊実
『おらが春』の素材(続)	黄色瑞華
歌人「安江不空」	小野浩

## 第5号(1978年)

南アメリカの考古学史	貞末堯司
Manorathapūraṇī 源泉資料年代論	森祖道
大学英語教育の問題点(上)	鮫島久男
クレアラ・アン・ペイター覚え書(Ⅱ)	萩原博子
『シンベリン』, 皮肉な遊戯	戸所宏之
カフカ研究の視座を求めて	山口勲
東京日仏会館開館式におけるマルロー氏の演説(1960年2月22日)と 東京羽田空港におけるインタビュー(2月29日)	堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法(Ⅲ)	陶山嘯
ニーチェと自然(一)	河内信弘
『おらが春』第一話の設定をめぐって	黄色瑞華

## 第6号(1979年)

ヴィトゲンシュタインの思想を理解するために	山口勲
パーソナリティテストとしての SCT に関する一考察 ——特に応用とその解釈をめぐって——	駒崎勉
ジェイムズ・ジョイスの手法について(1) ——我国におけるジョイス評価の推移——	茂呂公一
A Textual History of Walter Pater's <i>Renaissance</i>	Hiroko Hagiwara
マクベスの意識構造——「運命」「眠り」「時」——	小野昌
ニーチェと自然(二)——『悲劇の誕生』——	河内信弘
全集本『おらが春』について	黄色瑞華